

わかばカップ アンケート調査結果

神奈川県ビリヤード協会

2. ****レッスン企画****

- ビリヤードのレッスンには一定の興味があり、特にプロのレッスンを受けたいという意見が見受けられました。
- 受講料としては、2,000円 - 5,000円が妥当との意見が多く、開催頻度としては月に2回が最も希望されていました。

****マーケティングアクション****

- プロのビリヤードプレイヤーによるグループレッスンを計画し、定期的に開催する。
- 受講料を2,000円 - 5,000円の範囲に設定する。

3. ****公式戦****

- ビリヤード協会主催の公式戦には大きな興味があることが示されています。また、参加費として2,000円 - 3,000円が最も支払い可能とされています。
- 開催頻度としては、「3ヵ月に1回」が最も多く、「月に1回」もそれに次ぐ意見となりました。
- 賞典については「賞品（ギフト券など）」が最も希望されていました。

****マーケティングアクション****

- 3ヵ月に1回の頻度で公式戦を開催し、参加費を2,000円 - 3,000円の範囲に設定する。
- 賞品（ギフト券など）をメインの賞典とし、参加者の興味を引くアイテムを考える。

これらの結果から、ビリヤード協会の活動は全体的に評価されていることがわかりますが、各イベントやプランの詳細については改善の余地があると考えられます。

各活動に対して適切なマーケティングアクションを起こすことで、より多くの参加者を引きつけ、満足度を向上させることができます。

わかばカップ、レッスン企画、公式戦のアンケート結果から 次のような総括と洞察を得ることができます。

アンケートの条件は以下の通りです。

日時： 2023. 7. 30 (日) 10:00~19:00

会場： A-1 (小田原市飯泉 鴨宮駅)

総数：24人

条件：わかばカップに参加して頂いたCクラスおよびビギナークラスの選手にアンケートを実施しました。

1. ****わかばカップ****

- 参加者の多くは非常に満足または満足しており、評価は良好です。大会を楽しんでいることが伺えます。
- 大会を知る手段として、友人や知人からの情報、および店舗ポスターが有効であることがわかりました。
これは口コミや店舗での情報提供が重要であることを示しています。
- 試合へのエントリー理由として最も多かったのは「腕試し」であり、次いで「試合が好きだから」と「誘われたから」でした。
この結果から、参加者は新たな挑戦や自己改善を求めていると考えられます。

****マーケティングアクション****

- 口コミや店舗内での情報提供に力を入れ、さらに参加者を増やす取り組みを行う。
- 「腕試し」を目指すプレイヤーのための新たなイベントや挑戦を企画する。

2. ****レッスン企画****

- ビリヤードのレッスンには一定の興味があり、特にプロのレッスンを受けたいという意見が見受けられました。
- 受講料としては、2,000円 - 5,000円が妥当との意見が多く、開催頻度としては月に2回が最も希望されていました。

****マーケティングアクション****

- プロのビリヤードプレイヤーによるグループレッスンを計画し、定期的に開催する。
- 受講料を2,000円 - 5,000円の範囲に設定する。

3. ****公式戦****

- ビリヤード協会主催の公式戦には大きな興味があることが示されています。また、参加費として2,000円 - 3,000円が最も支払い可能とされています。
- 開催頻度としては、「3ヵ月に1回」が最も多く、「月に1回」もそれに次ぐ意見となりました。
- 賞典については「賞品（ギフト券など）」が最も希望されていました。

****マーケティングアクション****

- 3ヵ月に1回の頻度で公式戦を開催し、参加費を2,000円 - 3,000円の範囲に設定する。
- 賞品（ギフト券など）をメインの賞典とし、参加者の興味を引くアイテムを考える。

これらの結果から、ビリヤード協会の活動は全体的に評価されていることがわかりますが、各イベントやプランの詳細については改善の余地があると考えられます。

各活動に対して適切なマーケティングアクションを起こすことで、より多くの参加者を引きつけ、満足度を向上させることができます。

2023.7.30 わかばカップ C級ビギナー戦

A-1会場

アンケート集計結果

わかばカップに関するアンケート調査

1	設問	あなたの年齢層は何ですか？	回答数	割合
1	1	20歳未満	0	0.0%
2	2	20代	5	21.7%
3	3	30代	4	17.4%
4	4	40代	6	26.1%
5	5	50代以上	8	34.8%
	全体		23	

1. 年齢層：最も参加者が多い年齢層は「50代以上」で、全体の約35%を占めています。つまり、このビリヤード大会は比較的年齢層が高めの方々からの参加が多かったということになります。
 2. ビリヤード経験：この大会はCクラスとビギナークラスが参加可能であるため、参加者はビリヤードに対する経験がある程度ある中年層や、ビリヤードに興味があるがまだ経験が浅い高年層が多い可能性があります。
 3. 20歳未満の参加者が0人ということで、この年齢層の参加者がいませんでした。この情報から、今後の大会を計画する際に、より幅広い年齢層を対象にするためにはどのような施策が必要か考えるきっかけになります。例えば、20歳未満を対象にしたプログラムや特別な優待を提供することで、若年層の参加を促すことができるかもしれません。
 4. 参加者の大半が40歳以上であるということは、一般的にこの年齢層が余裕時間が多いと考えられるため、それらの時間をポケットビリヤードの楽しみに使いたいと考える人が多いのかもしれません。
 5. また、ビリヤードのスキルレベルについてのデータがないため、確実なことは言えませんが、参加者の年齢層とスキルレベルが相関している可能性もあります。つまり、年齢が上がるにつれてビリヤードの経験も増えるという傾向があるかもしれません。
- これらの情報は、今後の大会の企画やマーケティング活動に役立つかもしれません。参加者の年齢層に基づいて、どの年齢層にアピールすべきか、またどの年齢層を増やすための戦略を考えるための参考になります。

設問	あなたの性別は何ですか？	回答数	割合
1	男性	14	60.9%
2	女性	9	39.1%
3	その他	0	0.0%
4	答えたくない	0	0.0%
全体		23	

1. 回答者全体の約61%が男性で、約39%が女性です。これは、男性が多数を占め、女性がそれに次ぐ参加者数ということを示しています。
2. 「その他」の категорияや「答えたくない」の categoriaの回答は0で、これは回答者全員が自分の性別を男性か女性として特定していることを示しています。

これらの結論は、今後のビリヤード大会の企画やマーケティング活動に役立つ可能性があります。例えば、参加者の大半が男性であることから、男性向けのプロモーションや広告を強化するとより効果的かもしれません。一方で、女性の参加者も約39%と決して少なくないため、女性向けのプログラムやサービスを導入することで、女性の参加者を増やすことも可能かもしれません。また、性別による参加の違いは、ビリヤードに対する興味やビリヤードの経験、さらにはビリヤードへのアクセス可能性など、さまざまな要素によっても影響を受ける可能性があります。

3 設問	ビリヤードを始めてからどのくらいの期間が経過しましたか？	回答数	割合
1	6ヶ月未満	4	17.4%
2	6ヶ月	2	8.7%
3	1年	5	21.7%
4	1 - 2年	6	26.1%
5	2年以上	6	26.1%
全体		23	

これらの結果から、大会参加者のビリヤード経験年数は様々であり、新規参入者から経験者まで幅広い層から参加があることがわかります。これは大会の雰囲気や参加条件が新規参入者にも対応していること、そして一方で経験者も満足できる内容になっていることを示しているかもしれません。

また、ビリヤードの経験年数と年齢層のデータを比較すると、特定の年齢層が特定の経験年数を持つ傾向があるかもしれません。それを確認するためには、各年齢層のビリヤードの経験年数についてのデータが必要になります。

最後に、このデータは今後の大会の企画やマーケティング活動に役立つ可能性があります。

例えば、新規参入者を増やすためには初心者向けのワークショップや練習会を増やすといった施策が考えられます。

また、経験者を満足させ、さらに参加を促すためには、より高度な技術や戦略を学べるプログラムや、経験者同士で技術を競い合える場の提供などが効果的かもしれません。

設問	週にどのくらいの頻度でビリヤードをプレイしますか？	回答数	割合
1	週に一度以下	3	13.0%
2	週に2~3回	13	56.5%
3	週に4~5回	5	21.7%
4	ほぼ毎日	2	8.7%
全体		23	

これらの結果から、参加者の中にはビリヤードを定期的にプレイする習慣を持つ人が多いことがわかります。これは、ビリヤードが参加者のライフスタイルの一部になっていることを示している可能性があります。また、この情報は大会のスケジュールリングやプロモーション活動に役立つ可能性があります。例えば、「週に2~3回」プレイする参加者が最も多いため、この頻度を考慮して大会の日程を設定するとより多くの参加者を集められる可能性があります。また、「週に一度以下」でプレイする参加者に対しては、大会参加を通じてプレイの頻度を上げるように促すマーケティング活動を行うと効果的かもしれません。

ただし、これらの解釈はあくまでアンケート結果のデータに基づくものであり、具体的な状況や背景、目的によって解釈が変わることもあります。

5 設問	ビリヤードを始めたきっかけは何でしたか？	回答数	割合
1	友人・知人からの影響	16	72.7%
2	TVや映画で見た	1	4.5%
3	自己啓発の一環として	4	18.2%
4	その他（具体的に記述してください）	1	4.5%
全体		22	

50代以上男性：昔やってた

1. ビリヤードを始めた最も大きなきっかけは「友人・知人からの影響」で、全体の約72.7%がこれを選択しています。これは、ビリヤードが社交的な活動であり、人々が友人や知人との交流を通じてビリヤードを始める傾向があることを示しています。
2. 「自己啓発の一環として」ビリヤードを始めた人は全体の約18.2%となっています。これは、一部の人々がスキルの向上や新しい趣味の探求の一環としてビリヤードを始めていることを示しています。
3. 「TVや映画で見た」と答えた人や「その他」の理由でビリヤードを始めた人（具体的には「昔やってた」）はそれぞれ全体の約4.5%となっています。

これらの結果から、参加者がビリヤードを始める主なきっかけは友人・知人からの影響ということがわかります。これは、ビリヤード大会のマーケティング活動においては「友人・知人と一緒に参加する」を促すようなプロモーションが効果的である可能性を示唆しています。

また、「自己啓発の一環として」始めた人々に対しては、ビリヤードの技術向上や新しい技術の習得を重視するプログラムやイベントが喜ばれるかもしれません。

それぞれの始めたきっかけによって、プレイの習慣や参加意識、期待する大会の内容などが異なる可能性があるため、この情報は大会の計画や運営に役立つ可能性があります。

設問	ビリヤードを続ける動機は何ですか？（複数選択可）	回答数	割合
1	競技としての興奮を楽しんでいる	11	26.8%
2	リラクゼーションやストレス解消のため	4	9.8%
3	友人との交流の場として	9	22.0%
4	上達したいという目標があるから	16	39.0%
5	その他（具体的に記述してください）	1	2.4%
全体		41	

50代男性：とにかく面白い！！ビリヤード最高！！

1. 「上達したいという目標があるから」が最も多く、全体の約39.0%を占めています。これは参加者の中にはビリヤードのスキル向上を求める意欲的な人が多いことを示しています。
2. 「競技としての興奮を楽しんでいる」を選んだ人は全体の約26.8%となっており、ビリヤードの競争的な要素を楽しむ人も一定数いることがわかります。
3. 「友人との交流の場として」ビリヤードを続ける人は全体の約22.0%となっています。これはビリヤードが社交的な活動であることを再度示しています。
4. 「リラクゼーションやストレス解消のため」を選んだ人は全体の約9.8%となっています。これはビリヤードがリラクゼーションやストレス解消の手段として利用されていることを示しています。

これらの結果から、参加者がビリヤードを続ける理由は、スキルの向上、競技としての楽しみ、社交の場としての側面、リラクゼーションやストレス解消など、多様であることがわかります。

大会の企画やマーケティング戦略においては、これらの異なる動機に対応するようなアプローチが必要となります。例えば、スキルアップを目指す参加者に対しては、上達を助ける練習会やワークショップを提供すること、社交を楽しみたい参加者に対しては、友人と一緒に参加できるイベントや大会を開催することが有効かもしれません。

7 設問	現在のビリヤード協会の活動に満足していますか？	回答数	割合
1	非常に満足	3	15.8%
2	満足	4	21.1%
3	普通	11	57.9%
4	不満	1	5.3%
5	非常に不満	0	0.0%
全体		19	

このアンケート結果から、ビリヤード協会の現在の活動について参加者の意見は以下のようになっています：

1. 「非常に満足」している人は全体の約15.8%となっています。これは協会の活動が一部の参加者に高い評価を受けていることを示しています。
2. 「満足」している人は全体の約21.1%で、これらの人々も協会の活動を肯定的に評価しています。
3. 「普通」の評価を与えた人が最も多く、全体の約57.9%を占めています。これは、協会の活動について特に肯定的でも否定的でもない、もしくは特に意見がない人が大多数であることを示しています。
4. 「不満」を感じている人は全体の約5.3%となっています。この人々は協会の活動に何らかの問題を感じている可能性があります。
5. 「非常に不満」を感じている人はいません。

これらの結果から、ビリヤード協会の活動について、大部分の参加者が「普通」または「満足」していることがわかります。しかし、「不満」を感じている一部の人々の意見も無視できません。協会は、これらの人々が具体的に何に不満を感じているのかを理解し、可能な限りその問題を解決するためのアクションを検討する必要があります。

設問	ビリヤード協会の活動に提案や意見がありますか？（自由記述）	回答数	割合
1	40代男性：Webサイトをわかりやすくしてほしい		
2	40代女性：参加できる試合が少ない		
3	30代女性：色々な情報を流してほしいです。		
4	50代以上男性：いろいろな会場で試合ができると良いです。		
5			
全体		4	

1. 40代男性：「Webサイトをわかりやすくしてほしい」 - ビリヤード協会のウェブサイトの情報整理やデザインの改善が求められています。
2. 40代女性：「参加できる試合が少ない」 - もっと多くの試合を開催したり、参加可能な試合の機会を増やすことが求められています。
3. 30代女性：「色々な情報を流してほしいです」 - ビリヤード関連の情報をもっと広く提供することが求められています。具体的な情報の種類は述べられていませんが、トーナメント情報、テクニックの情報、イベント情報などが考えられます。
4. 50代以上男性：「いろいろな会場で試合ができると良いです」 - 試合の開催場所を増やし、地域によるアクセスの差を減らすことが求められています。

これらの意見や提案は、協会が自身のサービスを改善するための重要なフィードバックとなります。具体的な改善策としては、ウェブサイトのUI/UXの改善、試合の開催数や種類の増加、情報提供の改善、試合の開催場所の多様化などが考えられます。これらのアクションは、会員の満足度向上に寄与し、ビリヤード協会の評価を高める可能性があります。

設問	わかばカップをどうやって知りましたか？	回答数	割合
1	店舗ポスター	9	37.5%
2	友人・知人から	12	50.0%
3	すけどん	1	4.2%
4	KBAホームページ	1	4.2%
5	KBAFacebook	0	0.0%
6	その他（具体的に記述してください）	1	4.2%
全体		24	

店舗オーナーから

1. 「店舗ポスター」を見たことで知ったという回答が全体の37.5%を占めています。これは店舗内のポスターや広告が、情報を広く伝える有効な手段であることを示しています。
2. 「友人・知人から」を知ったという回答が全体の50.0%となっています。これは口コミや人間関係を通じた情報伝達が最も効果的であることを示しています。
3. 「すけどん」、「KBAホームページ」、「その他」から知ったという回答はそれぞれ全体の4.2%を占めています。
4. 「KBAFacebook」から知ったという回答は0%で、Facebookを通じた情報伝達は現状ではあまり効果的でないことを示しています。

これらの結果から、口コミや店舗ポスターが「わかばカップ」への参加者を集める上で最も効果的な方法であることがわかります。一方で、KBAのウェブサイトやFacebookを通じた情報伝達の効果は現状では限定的であるようです。これはウェブサイトやFacebookの内容、デザイン、更新頻度などが改善の余地があることを示しているかもしれません。

10

設問	わかばカップを楽しめましたか？の評価を教えてください。	回答数	割合
1	非常に満足	9	37.5%
2	満足	11	45.8%
3	普通	3	12.5%
4	不満	0	0.0%
5	非常に不満	0	0.0%
6	その他（具体的に記述してください）	1	4.2%
全体		24	

40代男性：ハンデの付け方が・・・普通の試合形式でC以下に単純に絞った方が良い

アンケート結果から、「わかばカップ」の満足度は非常に高いことがわかります。

1. 「非常に満足」が全体の37.5%、「満足」が全体の45.8%となり、全体の83.3%の参加者が「わかばカップ」を楽しんでいたことがわかります。
2. 「普通」の回答が全体の12.5%となっています。
3. 「不満」および「非常に不満」の回答は共に0%で、この大会に対する大きな不満点は見受けられません。
4. ただし、「その他」の項目で40代男性から「ハンデの付け方が・・・普通の試合形式でC以下に単純に絞った方が良い」という意見が挙げられています。これはハンデキャップの付け方についての提案であり、大会運営側としては参加者全員が公平に楽しめる試合形式を考えるべきかもしれません。

全体的には、「わかばカップ」は参加者にとって楽しい経験であったと言えます。しかし、特定の試合形式については改善の余地があるとの意見もあり、これを反映させてさらなる満足度向上を図ることが期待されます。

11

設問	わかばカップにエントリーした理由を教えてください。	回答数	割合
1	試合が好きだから	5	20.8%
2	腕試し	13	54.2%
3	誘われたから	6	25.0%
4	その他（具体的に記述してください）	0	0.0%
全体		24	

1. 「腕試し」を選んだ参加者が最も多く、全体の54.2%を占めています。これは、参加者が自分の技術やスキルを試したい、または自己改善を求めて参加していることを示しています。
2. 「誘われたから」を選んだ参加者が全体の25.0%で、これは他の人々からの誘いによって参加が決定された場合が少なからずあることを示しています。
3. 「試合が好きだから」を選んだ参加者は全体の20.8%で、これらの参加者はビリヤードの競争要素を楽しむために参加していることを示しています。

これらの結果から、「わかばカップ」は参加者が自身の技術を試す場として、また他の人々と競い合う楽しみを求める場として、重要な役割を果たしていることが明らかになります。また、「誘われたから」という理由も無視できない割合を占めており、友人や知人との交流の一環として「わかばカップ」が利用されていることも考えられます。

12

設問	わかばカップに期待する事どうして欲しいか？具体的に	回答数	割合
1	40代女性：開催数を増やしてほしい。場所も色々なところで開催してほしい		
2	20代女性：体調的にたばこのにおいがきつかったので、禁煙とまでは言わないが対応して欲しい		
3	20代男性：これからも続けて頂きたい		
4	20代女性：面白く新鮮な大会だったが、早く試合を回す為だったらハイボール抜きにしたら？ でも7,8抜いたらビリヤードと言えないのかな！（笑） このような大会を作って下さりありがとうございました。次回も行けたら行きます。		
全体		4	

- 40代女性からは「開催数を増やしてほしい。場所も色々なところで開催してほしい」という要望が出ています。
これは、わかばカップの開催回数や開催地に対する期待を示しています。
- 20代女性からは「体調的にたばこのにおいがきつかったので、禁煙とまでは言わないが対応して欲しい」という意見があり、会場の環境改善について提案しています。
- 20代男性からは「これからも続けて頂きたい」というコメントがあり、わかばカップの継続開催を希望しています。
- 20代女性からは試合の進行速度やルールについて具体的な提案があります。特に、ハイボールの有無について触れ、「早く試合を回す為だったらハイボール抜きにしたら？」という提案とともに、「でも7,8抜いたらビリヤードと言えないのかな！（笑）」という一言でビリヤードの醍醐味にも言及しています。

これらの意見から、わかばカップに対する参加者の期待や提案は多岐にわたることが分かります。大会の開催回数や場所、会場の環境、ルールや試合の進行速度など、さまざまな面で改善の余地があることが示されています。これらのフィードバックを参考に、今後の大会運営に生かしていくことが求められます。

2023.7.30 わかばカップ C級ビギナー戦

A-1会場

アンケート集計結果

ビリヤード協会が主催したレッスン企画に関する調査

13	設問	回答数	割合
	ビリヤードのレッスンに興味がありますか？		
1	非常に興味がある	7	31.8%
2	どちらかと言えば興味がある	6	27.3%
3	普通	4	18.2%
4	あまり興味がない	2	9.1%
5	全く興味がない	3	13.6%
	全体	22	

これらの結果から、以下のことが考えられます：

1. ビリヤードのレッスンに対する興味は、非常に興味がある人とどちらかと言えば興味がある人を合わせて、全体の約60%と大半の人が何らかの形で興味を持っています。
2. 一方で、「あまり興味がない」と「全く興味がない」を合わせると全体の約23%と、一定数の人々はビリヤードのレッスンに対して興味が低いということが示されています。
3. また、「普通」と回答した人々（全体の18.2%）は、レッスンに対する興味が強いとも弱いとも言えない、中立的な立場にいると解釈できます。

これらの結果は、ビリヤードのレッスンを提供する際に、どのような顧客層が存在するかを理解する上で役立つと思われます。

14

設問	プロに教えてもらえるグループレッソンの受講料（2時間でテーブル代込）は、いくらまでなら支払っても良いと思いますか？	回答数	割合
1	1,000円以下	1	4.8%
2	1,001円 - 2,000円	0	0.0%
3	2,001円 - 3,000円	8	38.1%
4	3,001円 - 5,000円	8	38.1%
5	5,001円以上	4	19.0%
全体		21	

1. レッスン料金に対して最も多い回答が「2,001円 - 3,000円」と「3,001円 - 5,000円」で、それぞれが全体の38.1%となっています。つまり、受講者の大半は2,001円から5,000円までの範囲で料金を支払うことを考えているようです。
2. 「5,001円以上」と回答した人々も全体の19.0%と存在しています。これは、高品質なレッスンに対してより多くの費用を支払う意志がある人々が一定数いることを示しています。
3. 「1,000円以下」と回答した人は全体の4.8%で、最も低い料金帯を希望する人は少ないようです。

これらの結果は、ビリヤードのプロによるグループレッソンの受講料を設定する際の参考になります。大半の受講者が2,001円から5,000円までの料金を期待しているため、この範囲を基本とする価格設定が妥当と考えられます。また、高品質なレッスンを希望する一部の受講者に対しては、5,001円以上のプレミアムプランを提供することも検討できます。

15

設問	レッスンの開催頻度は、どの程度が理想的だと思いますか？	回答数	割合
1	月に2回	12	57.1%
2	月に1回	6	28.6%
3	2ヵ月に1回	2	9.5%
4	3ヵ月に1回	1	4.8%
5	6ヵ月に1回	0	0.0%
6	1年に1回	0	0.0%
7	その他（具体的に記述してください）	0	0.0%
全体		21	

1. 「月に2回」と回答した人が最も多く、全体の57.1%を占めています。つまり、受講者の過半数は月に2回のレッスンが理想的だと考えているようです。
2. 次に多いのが「月に1回」で、これには全体の28.6%の人が賛成しています。このことから、レッスンの頻度を月に1～2回とすることが、多くの受講者の希望に合致すると考えられます。
3. 「2ヵ月に1回」や「3ヵ月に1回」と回答した人もいますが、これらは全体の14.3%に過ぎません。
これは、頻度が低すぎると学習効果が落ちると感じている人が多いか、または頻繁に参加できる時間が確保できていることを示している可能性があります。

これらの結果は、ビリヤードレッスンの開催頻度を決定する際の参考になります。受講者の多くが月に1～2回のレッスンを希望しているため、この頻度での開催を考慮すると良いでしょう。

16

設問	プロのビリヤードプレイヤーによるレッスンを希望しますか？	回答数	割合
1	是非受けたい	3	13.6%
2	あったらうれしい	8	36.4%
3	普通	4	18.2%
4	それほど必要ない	5	22.7%
5	全く必要ない	2	9.1%
全体		22	

1. プロのビリヤードプレイヤーによるレッスンに対して「是非受けたい」または「あったらうれしい」と感じている人は全体の50%を超えています。これは、プロのプレイヤーによるレッスンに強い興味や期待があることを示しています。
2. 一方、「それほど必要ない」または「全く必要ない」と答えた人も約31.8%と一定の割合を占めています。これは、プロによるレッスンに対する必要性を感じていない人も一定数いることを示しています。

これらの結果から、プロのビリヤードプレイヤーによるレッスンには一定の需要があると言えますが、全ての人がその必要性を感じているわけではないと考えられます。したがって、プロのビリヤードプレイヤーによるレッスンを開設する場合は、興味のある人に対してのみのオプションとする、またはレッスンのコンテンツや形式を工夫して広範なニーズに対応するなどの配慮が必要そうです。

17

設問	レッスンを受けるなら、どの時間帯が最も都合が良いですか？	回答数	割合
1	平日の昼間	3	14.3%
2	平日の夜	5	23.8%
3	週末の昼間	7	33.3%
4	週末の夜	6	28.6%
5	その他（具体的に記述してください）	0	0.0%
全体		21	

1. 「週末の昼間」を選択した人が最も多く、全体の33.3%となっています。週末の昼間は一般的に仕事や学校などの日常的な活動がないため、最もレッスンを受けやすい時間帯と言えます。
2. それに次いで「週末の夜」を選択した人が多く、全体の28.6%となっています。週末の夜も一般的に仕事や学校などの活動がないため、レッスンを受ける時間として適していると考えられます。
3. 「平日の昼間」を選んだ人は全体の14.3%と比較的少なく、「平日の夜」を選んだ人は全体の23.8%となっています。平日は仕事や学校などの活動があるため、レッスンを受けるのに都合が良いと感じる人は比較的少ないようです。

これらの結果から、レッスンの開催は週末の昼間や夜をメインに設定することが、最も多くの人々にとって都合が良いと言えます。

2023.7.30 わかばカップ C級ビギナー戦

A-1会場

アンケート集計結果

ビリヤード協会が主催する公式戦に関する調査

18	設問	回答数	割合
	ビリヤード協会主催の公式戦に興味がありますか？		
1	非常に興味がある	6	27.3%
2	どちらかと言えば興味がある	10	45.5%
3	普通	6	27.3%
4	あまり興味がない	0	0.0%
5	全く興味がない	0	0.0%
	全体	22	

ビリヤード協会主催の公式戦に対する興味は高く、全体の72.8%の人々が「非常に興味がある」または「どちらかと言えば興味がある」と回答しました。また、「普通」と回答した人も全体の27.3%と一定の数でしたが、「あまり興味がない」や「全く興味がない」と回答した人はいませんでした。

これはビリヤード協会主催の公式戦が参加者から一定の注目を集めていることを示しています。

19	設問	公式戦の参加費（ゲーム代込）は、いくらまでなら支払うことができますか？	回答数	割合
	1	1,001円 - 2,000円	0	0.0%
	2	2,001円 - 3,000円	17	77.3%
	3	3,001円 - 5,000円	4	18.2%
	4	5,001円以上	1	4.5%
	全体		22	

これらの結果から、公式戦の参加費は大半の参加者が2,001円から3,000円の範囲が適切であると考えていることが分かります。

20	設問	公式戦の開催頻度は、どの程度が理想的だと思いますか？	回答数	割合
	1	週に1回	0	0.0%
	2	月に1回	7	29.2%
	3	3ヵ月に1回	14	58.3%
	4	半年に1回	2	8.3%
	5	年に1回	1	4.2%
	6	その他（具体的に記述してください）	0	0.0%
	全体		24	

これらの結果から、ビリヤード協会の公式戦の開催頻度は、主に「3ヵ月に1回」から「月に1回」が望ましいと考えられます。

21

設問	公式戦の賞典に何を希望しますか？（複数選択可）	回答数	割合
1	トロフィー	6	17.1%
2	メダル	4	11.4%
3	賞品（ギフト券など）	16	45.7%
4	賞状	5	14.3%
5	その他（具体的に記述してください）	4	11.4%
全体		35	

40代男性：ワッペン

50代以上男性：キュー

30代女性：賞金

50代以上男性：ビリヤード用品

これらの結果から、公式戦の賞典には具体的な物品や利用可能なギフト券などが望まれていることがわかります。